



援農状況 *Let's Activate Area AGRI*

9月の援農は1817時間(内12時間は無償研修)、援農参加者は69人、受け入れ農家は17軒でした。今年度累計は13909.5時間です。作業内容は、収穫と出荷(しょうが、かぶ、里芋、人参、小松菜、ねぎ、じゃがいも、オクラ、ナス、ピーマン、バジル、ブルーベリー)、肥料やり、夏野菜(きゅうり、トマト、モロヘイヤ)やハウスの片づけ、人参・大根の間引き、稲刈り、苗植え(キャベツ、白菜、レタス)、播種(大根)、野菜販売、卵選別、花卉栽培では葉ボタンの手入れ、花摘み(出荷前の花を摘み取ります)、花苗を広げて並べる、ドライリース作り、ゆり定植、肥料まきなどです。八王子では9月第一土日に「しょうがまつり」があるほど、しょうがは人気の食べもの。9月はその出荷に追われます。

イベント情報

- ① すずしろまつり 11月2日(土)10時~14時 子どもキャンプ場にて。
雨天中止。参加費 大人500円、高校生以下200円。
- ② JA農業祭出店 11月9日(土)、10日(日)
富士森公園にて。ゆずこしょう、唐辛子とローリエのブーケの販売をします。
- ③ 旬菜会料理会 12月6日(金)11時~14時
川口市民センター調理室にて。参加費1000円(こんにゃくのお土産つき)
蒟蒻作りと地場野菜を使った料理
- ④ 『クリスマス用の寄せ植え』講習会 10月29日(火) 14時~15時。
石川農園(高月町)にて。参加費1000円(材料費)。雨天決行

援農体験記

南大沢 青山登

この7月にすずしろ22に入会し援農を始めました。いままでの40年間ほとんど座り仕事で過ごしてきた、農業は初めての体験です。八王子のこれからの農業を肌で体験しようと意気込んで始めてはみたものの、戸惑うことはばかりで、まずは体を使う仕事に慣れていくことと段取りを覚えていくことが出発点だということを実感しました。

収穫してよい野菜の判断、あぜ道の歩きかた、支柱に横ひもをわたす、トンネルを張るなど頭脳的にも体力的にも新鮮な経験の連続です。ベテランの人から見れば何でもないことでしょうが私も早くベテランの域に達したいものです。作られている野菜はとてもおいしく、野菜は身体にいいからとりあえず食べるものといままで思っていたのが、不幸な思い込みだったということがわかりました。これも援農の賜物だと思います。援農を始めてから3か月がたちもう10月、暑さも去ったおかげが体も慣れてきました。これからもっと農業体験を深めていきたいと思ひます。

理事会・分科会だより



- 第5回理事会開催 10/9(水)18:00~21:00
(台町市民センターにて 理事6名 監事1名出席)
 - ・報告(会計、援農)
 - ・富所農園の一部研修農園化について
 - ・すずしろまつり(10/26)実行計画
 - ・JA農業祭(11/9~10)出店計画
 - ・ホームページのリニューアルについて
 - ・旬菜会料理会(12/6)実行計画
- IT&広報分科会開催 10/11(金)13時~16時
(台町市民センターにて。理事2名・会員2名出席)
- 地産地消分科会開催 10/23(水) 18時~20時
(浅川市民センターにて。蒟蒻作り試作会)

ちょっと耳にした情報・アドバイス

シクラメンの育て方



高月町 石川 研

シクラメンは、11月に播種して1カ月後に発芽(単葉)して、3ヶ月かけて葉が3枚程度になり、その時点で球根を形成します。その後は芽点が発芽して、葉の枚数が70~80枚くらいになり、葉の数だけ花を付けます。生産出荷まで1年間かかり、出荷後は半年間咲き続けます。

石川農園では、色々な花を生産していますが、やはり、シクラメンは基幹となる作物です。

シクラメンの購入後の育て方として、冬の間の置き場所は、窓辺の光が良く当たるところが良く、水は乾いたら鉢底から水が出るまで十分与えてください。肥料は液肥(ハイポネックス)を10日間に1回程度水に溶いてかん水してください。シクラメンは球根ですので、うまく育てると2~3年咲き続けます。コツは5月~9月までは直射日光をさけ、カーテン越しに置くことです。生育適温は15℃~30℃くらいです。庭のある方は、西日の当たらない、木の下に置いてください。秋になったら、購入時の育て方を参考にしてください。

シクラメンは物静かで芯が強く、りんと咲く花です。今年の冬には一鉢ご購入してみてはいかがでしょうか。